

## 藤沢市教育委員会定例会（4月）会議録

日 時 2011年（平成23年）4月21日（金）午後3時

場 所 東館2階教育委員会会議室

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の決定
- 3 前回会議録の確認
- 4 教育長報告
  - (1) 臨時代理の報告について
  - (2) 平成23年2月藤沢市議会定例会の開催結果について
- 5 議 題
  - (1) 委員長の選挙について
  - (2) 委員長職務代理者の指定について
- 6 議 事
  - (1) 議案第2号 平成22年度教育施設整備に係る工事計画の策定について
  - (2) 議案第3号 社会教育委員の委嘱について
- 7 その他
  - (1) 第10回「学習意識調査」報告書について
  - (2) 友禅関連事業結果について
  - (3) 第10回藤沢市30日美術館開催結果について
  - (4) 「はやぶさ」帰還カプセル展示結果について
- 8 閉 会

出席委員

1 番 佐々木 柿 己  
2 番 赤 見 恵 司  
3 番 澁 谷 晴 子  
4 番 小 澤 一 成  
5 番 岩 本 育 子

出席事務局職員

教育総務部長	村 岡 泰 孝	生涯学習部長	伊勢田 実
教育総務部担当 部長	桑 山 光 生	生涯学習課長	鈴 木 達 也
教育総務部参事	中 島 徳 幸	生涯学習部参事	稲 垣 一 彦
教育総務部参事	土 居 秀 彰	生涯学習部参事	神 尾 哲
教育総務部参事	嶋 村 和 三	総合市民図書館長	内 藤 彰
教育総務部参事	吉 田 早 苗	生涯学習課主幹	熊 谷 敬 子
教育総務課主幹	須 田 朗	生涯学習課課長 補佐	斎 藤 隆 久
教育指導課主幹	岡 滝 男	生涯学習課課長 補佐	藪 内 智 章
学務保健課長	吉 住 潤	学校施設課主幹	高 橋 幹 弘
学校施設課課長 補佐	大久保 敬 一	教育文化センター長	泉 在 道
教育総務課課長 補佐	中 川 あをい	生涯学習課課長 補佐	細 井 守
書 記	田 邊 義 博		

午後3時00分 開会

岩本委員長 ただいまから、藤沢市教育委員会4月定例会を開会いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本委員長 会議録署名委員を決定いたします。本日の会議録に署名する委員は、2番・赤見委員、3番・澁谷委員にお願いしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

岩本委員長 それでは本日の会議録に署名する委員は、2番・赤見委員、3番・澁谷委員にお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本委員長 続きまして、前回会議録の確認をいたします。

何かありますか。

特にないようですので、このとおり了承することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

岩本委員長 それでは、このとおり了承することに決定いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本委員長 続きまして、教育長報告を行います。

臨時代理の報告については、補正予算に関する藤沢市議会定例会への提出議案であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項ただし書の規定により非公開での審議としたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

岩本委員長 ご異議がないようですので、教育長報告(1)臨時代理の報告については、後ほど非公開での審議といたします。

次に、(2)平成23年2月藤沢市議会定例会の開催結果について、報告をお願いします。

佐々木委員 平成23年2月藤沢市議会定例会の開催結果について、ご報告申し上げます。(議案書参照)

2月市議会定例会は、2月16日から3月16日までの29日間で開催されました。2月の教育委員会定例会でご審議いただきました湘南台文化センターの指定管理者の指定に関する議案、藤沢市学校事故措置条例の一部改正に関する議案につきましては、本会議において可決されました。

また、藤沢市一般会計補正予算につきましては、総務常任委員会に付託され、討論・採決の結果、賛成多数で可決すべきものとされ、その後、本会議において可決されました。同じく2月定例会でご審議いただきまし

た藤沢市公民館条例の一部改正に関する議案につきましては、予算等特別委員会に付託され、討論・採決の結果、賛成多数で可決すべきものとされ、その後、本会議において可決されました。

次に、平成 23 年度藤沢市一般会計予算につきましては、予算等特別委員会に付託され、学校教育の関係につきましては、新入生サポート事業、藤沢ティーチャーズカレッジ「学びあい」事業、国際教育推進事業、学校教育相談センター事業、学校図書館管理運営事業、特別支援教育運営及び整備事業、学校施設環境整備事業等。生涯学習の関係につきましては、文化財資料整備事業、広域連携展示事業、学校・家庭・地域連携推進事業、公民館及び総合市民図書館市民運営事業、子ども読書活動推進事業、文化行事事業、スポーツ施設整備事業等、教育委員会としての重要な施策に係る質疑が行われ、討論・採決の結果、賛成多数で可決すべきものとされ、その後、本会議において可決されました。

次に、文教常任委員会についてご報告いたします。教育委員会に係る案件といたしまして、報告案件が 5 件ございました。(1)藤沢市教育振興基本計画の策定について、(4)子ども読書活動推進計画の改定について、(5)藤沢スポーツ元気プランの改定についての 3 件につきましては、教育委員会 2 月定例会で審議・決定されたものについて報告いたしました。

次に、(2)平成 22 年度全国学力学習状況調査の結果については、藤沢市の抽出調査対象校による調査結果及び分析をした内容を報告いたしました。

(3)「生涯学習ふじさわプラン」の改定については、教育委員会 2 月定例会でご説明いたしましたとおり、生涯学習推進本部会議において決定された改訂の内容について報告いたしました。以上で、文教常任委員会のご報告を終わります。

続きまして、代表質問についてですが、教育委員会に関連する質問は、7 ページに記載のとおりです。以上で、平成 23 年 2 月藤沢市議会定例会の開催結果についてのご報告といたします。

岩本委員長 ただいまの教育長報告につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

特にないようですので、報告どおり了承することといたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本委員長 次に、議題(1)委員長の選挙について、及び(2)委員長職務代理者の指定については、人事に関する案件に当たるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 13 条第 6 項ただし書の規定により、非公開での審議としたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

岩本委員長           ご異議がないようですので、議題(1)委員長の選挙について、(2)委員長職務代理者の指定については、後ほど非公開での審議といたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本委員長           これより議事に入ります。

議案第2号 平成23年度教育施設整備に係る工事計画の策定について、を上程いたします。事務局の説明を求めます。

嶋村教育総務部参事   議案第2号 平成23年度教育施設整備に係る工事計画の策定について、をご説明いたします。この工事計画の提案理由といたしましては、教育施設の整備を図るため、平成23年度における工事計画を策定する必要によるものです。この提案理由の根拠といたしましては、藤沢市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則（抜粋）第2条第1項第9号に記載のように、1件2,000万円以上の工事の計画を策定する場合は、教育長に委任されておらず、教育委員会に諮ることとなっていることによるものです。

工事計画につきましては、小・中学校大規模整備工事一般計画と小・中学校一般整備事業一般計画があり、1 小・中学校大規模整備事業一般計画(1)小学校改築事業は、本町小学校改築工事が2ヵ年継続事業の2年目で、予算額は記載のとおりです。(2)学校施設環境整備事業は、小学校では大越小学校の東側トイレ改修工事、中学校では湘南台中学校のグラウンド等整備工事で、予算額は記載のとおりです。

2 小・中学校一般整備事業一般計画ですが、小学校では鶴洋小学校の体育館床改修工事、俣野小学校の特別支援教室改修工事、中学校では高倉中学校の特別支援教室改修工事で、予算額は記載のとおりです。

それでは、議案書を読み上げます。(議案書参照)

岩本委員長           事務局の説明が終わりました。議案第2号につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

小学校、中学校のトイレ改修工事、グラウンド等整備工事について、具体的な内容を教えてください。

大久保学校施設課課長補佐   大越小学校のトイレ改修については、1階から4階のトイレが和式で東側にあり、ブース、タイル、壁等が劣化しており、照明も暗いという問題を学校施設の状況に合わせ、解決してまいりたいと思います。また、配管部分の損傷も激しいため、あわせて工事をしてまいりたいと考えております。湘南台中学校については、グラウンド西側からの風による砂ぼこりが激しく、近隣に迷惑がかかっているという状況と、グラウンドの表面がかなりデコボコ状態で、防砂ネット等も破損しているため、飛散防止のためにグリーンサンド等を入れる工事をしてまいりたいと

思っております。また、鵜洋小学校の体育館床改修工事は、床の傷みが激しく、床材の割れも生じており、隙間、穴等も開いている状況なので、全面張替えを考えております。

岩本委員長

他にありますか。

特にないようですので、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

岩本委員長

それでは、議案第2号 平成23年度教育施設整備に係る工事計画の策定については、原案のとおり決定いたします。

×××

岩本委員長

次に、議案第3号 社会教育委員の委嘱について、を上程いたします。事務局の説明を求めます。

鈴木生涯学習課長

議案第3号 社会教育委員の委嘱について、ご説明いたします。

この議案は、藤沢市社会教育委員のうち学校教育関係者2名に欠員が生じたため、その残任期間に係る委員を委嘱するものです。社会教育委員の定数は、藤沢市社会教育委員に関する条例に基づき15名です。現在の委員の男女別人数は男性6名、女性9名です。社会教育法に基づき、委員は学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、並びに学識経験のある者の中から委嘱することとなっており、これらの内訳では学校教育関係者が3名、社会教育関係者が4名、家庭教育向上に資する活動を行う者並びに学識経験者が8名です。

それでは、議案書を読み上げます。(議案書参照)

岩本委員長

事務局の説明が終わりました。議案第3号につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

特にないようですので、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

岩本委員長

それでは、議案第3号 社会教育委員の委嘱については、原案のとおり決定いたします。

÷÷÷

岩本委員長

次に、その他に入ります。

(1) 第10回「学習意識調査」報告書について、事務局の説明を求めます。

吉田教育総務部参事

平成22年に行われました、第10回学習意識調査報告書についてご説明いたします。(議案書参照) 議案書20～21ページに概要は記載されておりますが、お手元の冊子に基づいて説明いたします。(報告書参照)

学習意識調査は、教育文化センターが市内の中学校3年生を対象として1965年より5年ごとに45年間にわたり、ほぼ同一内容の質問紙を用いて

学習意識を調査し、その結果を検証してきたものです。今回は第 10 回目となります。この調査のねらいは、継続して調査を行うことにより、その時々における生徒の学習意識だけでなく、時代の流れを読み取り、これからの教育の方向性を定める上で基本的な資料を得るところにあります。

それでは、報告書 3 ページをご覧ください。調査項目の基本構成を一覧表にしております。調査項目は全 13 項目で、学習の意欲といった調査開始の 1965 年から 45 年続いております「継続調査項目」が 7 項目です。次に「勉強感」といった第 7 回以降から追加した項目が 5 項目、そして今回、学習の意欲についてさらに調査の信頼性を確保するために新たに学習の意欲をもう少し検証したものとして、新設項目として加えたものが 1 項目ございます。

調査方法については、5 ページから 12 ページに示されている調査用紙を使用し、藤沢市立中学校 3 年生、3,067 名分のデータについて集計・分析しております。調査の実施期間は、2010 年 5 月 25 日から 6 月 18 日です。

次に、16 ページ、調査結果の概要ですが、「帰宅後の勉強時間」について、45 年間の時系列比較をした結果です。「帰宅後に毎日勉強する」生徒は、5 年前に比べて増加しています。「ほとんど勉強しない」と答えている生徒はわずかですが、減少しております。45 年間の大きな変化の中で見ると、毎日勉強をする生徒が減少し、毎日ではなく時々する生徒の比率が増加しています。この間に塾通いが定着していることとあわせて考えると、勉強は毎日やるものではなく、塾に通う日にあわせてやる時も、やらないときもあるというスタイルに変化しているものと考えられます。

続いて 26 ページ、「学校の勉強の理解度」について、45 年間の時系列比較をした結果です。学校の勉強が「よくわかる」と答えた生徒は、2000 年から継続して増加しています。また、「ほとんどわからない」と答えた生徒は逆に減少し続けています。授業の内容の精選という要因もありますが、教師側が工夫し、わかりやすい授業づくりに努めていることによる結果も大きいのではないかと考えています。また、観点別評価が浸透し、教師が生徒一人ひとりの到達度をきめ細かく見るようになってきたことも影響していると考えております。

35 ページ、「学校の勉強についていく自信」について、45 年間の時系列比較をした結果です。学校の勉強についていく自信が「十分ある」と答えた生徒は、1975 年をピークに減少傾向にありましたが、1995 年以降は 20%前後で横ばい状況にあります。

40 ページ、「勉強の意欲」について、45 年間の時系列比較をしたものです。勉強の意欲は 1965 年の調査開始以降、一貫して低下現象を示して

きております。しかしながら、2000年以降は下げ止まり、その後、「もっと勉強したい」と答えた生徒が20%台を保っております。

51 ページ、「勉強の意欲」と「勉強のイメージの広さ」とのクロス集計をした結果です。本調査の最後に「勉強」という言葉から、どのようなことをイメージするかということについて質問しているのですが、生徒が選択肢を選んだ個数をイメージの広さととらえて集計してみました。このグラフの縦軸の数字は選択肢を選んだ個数で、この数字が大きいほどイメージが広いととらえています。そうしますと、もっと勉強したい生徒ほど「勉強」という言葉に対して持つイメージの幅が広く、勉強はもうしたくない生徒ほど「勉強」という言葉に対して持つイメージの幅が狭いことがわかります。

53 ページ、「勉強への集中度」について 45 年間の時系列比較をした結果です。勉強にいつも集中できる生徒は前回との比較では、わずかながら増加しましたが、1990年ごろから横ばい状態にあると言えます。

55 ページ、「勉強以外の自由時間に対する願望」について、45 年間の時系列比較をした結果です。勉強以外の自由時間を「もっとほしい」と答えた生徒は、前回とほぼ変わりません。

58 ページ、「勉強に関する悩み事の相談相手」についての比較です。父、母、担任の先生、担任以外の先生、塾の先生、家庭教師、先輩といった年上を相談相手に選ぶ比率が増加しています。受験のシステムの多様化に伴い、友達への相談や自分で解決することへの限界を感じていることのあらわれではないかと考えております。また、父、母については、父親の子育てに対する意識の高まりなど、親の意識の変化により相談しやすくなったのではないかと考えられます。

65 ページ、「勉強以外の悩み事の相談相手」についてです。勉強以外の悩み事の相談相手として、父、母、担任の先生、先輩が増加傾向あります。父、母に関しては、父親の子育てに対する意識の高まりなど、親の意識の変化により相談しやすくなったのではないかと考えられます。また、担任の先生への相談が増加していることにつきましては、いじめ等の問題が社会問題化する中で、生徒の悩みを共有しようと努力している教師の姿勢のあらわれと考えられます。

67 ページ、「学校の中で一番大切に思うもの」について比較した結果です。「友達づき合い」は1995年にこの項目の調査を開始して以来、現在に至る間で、常に70%台であり、「部活」との合計が80%台を常に保っています。この事実は人との関わりという社会性の修得という点から見ると、安心できる結果ではないかと考えております。また、勉強を大切に思う



生徒の増加は評価できることと考えています。

68 ページから 71 ページは、「学校以外での習い事」についての比較です。生徒の学習塾通いは 1995 年の 70.7% をピークに、一度は減少しましたが、その後、わずかずつではあります、増加傾向にあります。近年の増加傾向に関しては、入試制度の多様化により塾の持つ豊富なデータに関するニーズが、より高まってきたことの影響もあると考えています。スポーツ関係の習い事に通っている生徒もわずかながら増加し、家庭教師、お稽古事、趣味はわずかながら減少しています。

74 ページ、「学校と塾の比較」についての結果です。このグラフは学校の比率の高い順に並べております。「親友がいるのは」という質問に対して「学校」と回答している生徒が 8 割以上いますが、中学校 3 年生にとってゆっくりと友達に会う機会が学校以外には限られてしまうということからすると、この結果は当然の結果と考えられます。

80 ページ、「期待する授業」についての結果です。9 つのタイプの授業について質問しております。「非常に期待する」と「少し期待する」の比率を合計したものを「期待する生徒の比率」として比べてみると、9 つのタイプのうち、6 つのタイプの授業に対して 8 割以上の生徒が期待しております。また、2 つのタイプの授業に対しては 7 割以上の生徒が期待し、一番期待の低いタイプの授業でも 5 割を超えております。このことから生徒たちは、あらゆるタイプの授業に期待をしているということが見て取れます。

83 ページ、下のグラフは、期待する授業のうち「自分たちで課題を見つけ、考えたり調べたりする授業について」2000 年からの時系列比較をした結果です。このタイプの授業は 2000 年から他のタイプの授業に比べ、毎回期待度が低いのですが、「非常に期待する」と「少し期待する」を合わせた数字を見てみると増加傾向にあり、「全く期待しない」生徒が減少傾向にあります。これは「総合的な学習の時間」の定着と、現場の努力の積み重ねによるものと考えております。

90 ページ、「学習意欲」の促進傾向を測る質問についての結果です。これは新設されたもので、さらに学習意欲を深めるために質問項目を設けたものです。92 ページは学習意欲の促進傾向を測る質問に対しての結果となっております。これらの質問は今回新しく追加したもので、1965 年以来、本調査においてとらえてきた勉強の意欲に関する質問項目の信頼性を確保することを目的としております。そのため具体的な質問は「学芸大式学習意欲検査」の簡易版をもとに作成いたしました。信頼性の確保に関する結果については、46 ページから 48 ページに示しております。この質問

の結果から本調査が行ってきた勉強の意欲についての質問項目が、適切に学習意欲を測っているということがわかると思います。

96 ページ、「勉強という言葉から思い浮かべるイメージ」について、2005年の調査結果と比較をした結果です。どの項目も大きな変化は見られませんが、受験のための準備が5ポイントほど増加しております。学習塾に通う生徒が増加傾向にあることとあわせて考えると、近年、受験に対する意識が高まってきているとも考えられます。以上が報告書に基づく説明です。この報告書は2,200部印刷いたしまして、市内小・中・特別支援学校、県内外の教育研究所、教育委員会関係に配布いたします。教育委員会といたしましては、この報告の内容を教職員に周知し、校内研究等で活用を図るため、校長会、校内研究担当者会などを通して市内全校に、この結果についての働きかけを行っていきます。あわせて教育文化センターの情報誌であります「ふじさわ教育」におきまして、今年度特集記事を組み、市内の全教職員に配布する予定です。また、指導主事が学校訪問をする際に、授業研究等を行うときにこの資料を提供し、活用を図ってまいりたいと考えております。以上です。

岩本委員長 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

赤見委員 1点目は、「質問項目」の中で継続項目と追加項目という話がありましたが、削除した項目はありますか。あるとしたらどういう項目ですか。

2点目は、16ページの毎日勉強する生徒が2005年から2010年で少し増えているのと、67ページでも勉強が大切だと考えている生徒が少し増えているが、これは勉強をする生徒が下げ止まったというふうに考えているのであれば、その理由を教えてください。

泉教育文化センター長 1点目の質問項目につきましては、前回調査の新設項目のうち、「希望する最終学校」、「学校の成績」、「成績評定の受け止め」、「成績と先生」、「成績と家族」、「先生からの期待」、「家族からの期待」についての質問を削除しました。2点目の時系列変化において、2時間以上勉強した生徒、下げ止まりの件については下げ止まりと考えています。

吉田教育総務部参事 16ページの「帰宅後の勉強時間」について下げ止まっていると判断するのであれば、その分析はということですが、塾通いということも、子どもたちが毎日勉強することよりも、塾の勉強時間に合わせたり、自分の生活の中に勉強を溶け込ませることで行っているのではないかと考えています。毎日行うものではなく、塾に通う日とあわせて行うときと、行わないときがあるのかなと思います。しかし、子どもたちにとっては、少しずつでも勉強していこうという意欲につながっている

のではないかと判断しています。

赤見委員 そのような分析だと、塾通いがだんだんと減ってきて、2005年から2010年にかけて塾通いが増えたというように感じてしまうが。

桑山教育総務部担当部長 勉強時間については、社会教育に向けたご意見というのが、ゆとりとか学力低下というところで、一時期問題となり、今回、内容も授業時間も増やしてという形になりましたけれども、その辺が子どもの生活にも出てきているかと考えます。

小澤委員 この調査は何年間も続けているので、横ばい状態というのは、ある意味、工夫もされていないのかなと感じ取れてしまう。先生方に周知徹底すると言っておりましたので、ぜひ先生方が活用できるようにしていただきたい。

1つ気になったのは、スクールカウンセラーに勉強以外とか悩み事の相談をしていないと、これも教育委員会としてもしっかり考えていかなければいけない事項ではないかと思っておりますので、これから考えていきたいと思えます。

澁谷委員 この45年間にわたるデータは非常に貴重ですが、これまでにこの報告書を活用して授業改善とか、授業研究が行われた例などがあつたら教えていただきたい。

また、2,200部印刷して配布するということですが、藤沢市内だけではなく、県あるいは全国の学校教育研究大会のような場で発表される予定はありますか。

泉教育文化センター長 授業研究等については、本年度、この報告書を完成した後に、第一中学校の校内研究会において指導主事が概要を説明いたしました。これから小・中学校、特別支援学校の合同校長会において概要の説明をしたり、校内研究担当者会等でも説明をする予定です。今後の広報については、国や各都道府県の教育センター、市町村の教育センターについても、今まで当センターと関わりのあつたところには配布をする予定です。また、秋に行われる県教育研究所連盟の研究発表大会で発表をする予定です。

吉田教育総務部参事 授業研究にどう生かしていくかが、先生への周知、生徒に還元できる大きなところではないかと思えます。41ページの「勉強の意欲と規定する授業のクロス集計」でも、子どもたちに学習意欲を持たせるためには、どういった授業をしていくと子どもたちが意欲を持って取り組むか、それが授業改善のポイントにもなるかと思えますので、こういったところを資料にして、子どもたちが意欲を持って学習に取り組めるような準備をするといったところを発信していきたいと思っております。

村岡教育総務部長 この調査は長年続けているということで、国や他の教育機関も調査結果を待っているというようなことも聞いております。そういった意味で

は結果が出たところですので、教育文化センターもさらに精査して、要請があればどこにでも出向いて説明なり発表ができるように準備しておきたいと思います。

岩本委員長 質問の1点目は、各学校ごとに藤沢市全体の意識調査結果と比較して、先生方が「うちの学校は意欲が高い方だ」といった分析が行われているかどうか。

もう1点は学校と塾の比較で、教え方がわかりやすいのは塾というのがありました。学校が塾の教える技術を教員が見に行ったり、研修の中で取り入れているようなところがありますか。

泉教育文化センター長 学校ごとの調査比較ですが、明治中学校では学校独自で同じような調査をしています。2004年からデータが残っており、昨年度の校内研究のまとめには2004年度からの時系列の推移等も書いてありますが、市内全体の調査との比較はされていないということです。

それから塾の教える技術を学校で取り入れているかということについては、塾を見学に行く、あるいはその塾のノウハウを取り入れているということについて、私の知る限りございません。

岩本委員長 96 ページで「勉強」という言葉から思い浮かべるのは受験のためとイメージしている生徒が増加したということは、非常に心配なところです。私は、勉強は単に受験のためというより、子どもにとって勉強は生きる力をつけるためのもの、将来、食べていけるような大人になるためのものだと考えています。そのためにも勉強のあり方を子どもに幅広く教えていくのが学校教育ではないか。一方、塾の教え方に学ぶべき点があれば、どんどん取り入れて行ってほしい。また、80 ページの生徒が「学校の外で見学・体験できる授業」を求めている意識調査結果は、これは学校教育に活かせる場所ではないかと思っておりますので、ぜひ工夫をしていただきたい。それから学校と市全体の比較はまだされていないようなので、学校ごとに自分の学校の生徒にどういうふうに勉強に対して興味を持ってもらうか、教師の側で目的意識を持つためにも、この意識調査の結果を活かしてほしいと思います。この調査は、国内でもよく知られています。藤沢の先生にこの意識調査の歴史的意味と、いかに役に立てていくかということに改めて考えていただきたいと思っております。教育委員会からは見やすい資料の提供などやっていただいて、現場で活かせるようにしていただきたいと思っております。例えば、56 ページの「勉強に関する悩み事の相談相手」というこの表を生徒に配って、どうして先生には相談しにくいのかを授業の中で生徒たちに投げかけて、勉強する意味などを考えさせるといった実践を行うための資料になると思っておりますので、ぜひ活かしてすばらしい

学校教育を目指していただきたいと思います。

澁谷委員 この集計結果は市全体のものですが、学校毎のデータは公表しないにしても、それぞれの質問項目に対する集計結果はあるのですか。

泉教育文化センター長 データとしては取っております。

澁谷委員 それらを公表することは問題もあると思いますが、自分の学校のデータを校長先生が知ることは大事だと思います。自分の学校のデータと報告書にある市全体のデータを比べることは意味のあることと思うので、各校に自校のデータを提示するということがいかがですか。

泉教育文化センター長 今までは各校のデータを公表することによって、そのデータが一人歩きしてしまって、学校ごとの比較になってしまうという危惧のあるものは公開していなかったと聞いております。それから各学校長のみには知らせるということについては、今後検討させていただきたいと思います。

澁谷委員 確かに公表についてはいろいろな問題を含んでいると思いますが、全国学力調査のときもそうでしたが、各学校のデータを校長先生に提供することは必要であると思うので、ぜひ前向きに検討していただきたいと思います。

岩本委員長 加えて学校内の先生方にも、ぜひこのデータを知っていただきたいと思います。

他にありませんか。

ないようですので、了承することといたします。

×××

岩本委員長 次に、(2)友禅関連事業結果について、事務局の説明を求めます。

鈴木生涯学習課長 友禅関連事業結果についてご説明いたします。(議案書参照)

本事業につきましては、市制施行 70 周年記念事業として 3 事業を実施いたしました。まず 1 つ目は、ワークショップ「おためし友禅づくり」として、平成 22 年 23 日から 24 日の 2 日間、鶴沼公民館創作実習室におきまして、午前中に大人向けに染め体験として、友禅染めの下絵、糸目糊置き、彩色の工程を体験していただきました。午後には子ども向けに模様描き体験として、紙の着物にさまざまな道具を使って、模様をデザインすることを体験していただきました。参加人数は 10 月 23 日(土)が大人 6 名、子ども 6 名。24 日(日)が大人 10 名、子ども 9 名、合計 31 名が参加しております。事業終了後の感想としては、「友禅染めのワークショップは珍しく、貴重な体験であった」、「大変な過程を経て着物がつくられていることが実感でき、着物の見方が変わる」などのご意見をいただきました。

2 つ目は、記念イベント「講演会と上映会」ですが、平成 23 年 2 月 13

日（日）に藤沢市民会館第一展示集会ホールにおいて開催いたしました。講演の内容は、「友禅いろは話」と題して、水上嘉代子先生（遠山記念館学芸員）にご講演をいただきました。講演後、平成 21 年度に藤沢市教育委員会が制作いたしました記録映画「創作に生きる友禅作家・田島比呂子」をご覧いただきました。参加人数は 105 名（定員 100 名）で、事業終了後のご意見としては、「友禅に余り親しんでいなかったが、講演会の内容は非常に興味深かった」、「映画がすばらしかった。作品をぜひ見たい」、「映画を見たことで田島先生の人となりがよくわかった」などのご意見をいただき、好評でした。

3つ目は、作品展「田島比呂子の友禅一野山の息吹に染む衣」をより深く鑑賞いただくために企画したものです。この作品展は、平成 23 年 2 月 15 日（火）から 27 日（日）の 12 日間、藤沢市民ギャラリー第 1、第 2 展示室にて開催いたしました。展示内容としては、友禅訪問着 27 点、験し染め 3 点、下図 3 点、写真 2 点、道具類 38 点。入場者数は 4,025 名でした。以上です。

岩本委員長 事務局の説明が終わりました。ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

小澤委員 この他に何か考えていますか。

斎藤生涯学習課課長補佐 今回、平成 22 年度の友禅関連事業については、市制施行 70 周年記念事業として行いました。また、きっかけは市長のマニフェスト、経営戦略プランにもあります職員からの事業提案制度に基づいて、職員の発案で行ったものです。田島先生は名誉市民として当市にお住まいで、また、人間国宝という非常に貴重な方ですので、生涯学習部として何か事業を行う可能性はございますが、今のところ、友禅を使った特段の企画はございません。

小澤委員 大変すばらしい作品なので、今後も市民に PR ができるような展開をしていただきたいと思います。

岩本委員長 すばらしい作品展でしたが、例えば金屏風の前に置いた方がさらに着物が映えるのではないかと、そういった工夫があったらと思いました。そのためのお金はどうやって捻出すればいいかということも課題だと思います。

また、今回は鎌倉市から教育委員が視察に見えました。友禅に関することについては、藤沢市の文化遺産として今後ともいろいろ考えていただきたいと思います。

他にありませんか。

特にないようですので、友禅関連事業結果については、了承することと

いたします。

×××××××××××××××××××××××××××××××××××

岩本委員長 次に(3)第 10 回藤沢市 30 日美術館開催結果について、事務局の説明を求めます。

神尾生涯学習部参事 平成 22 年度市制施行 70 周年記念事業 第 10 回藤沢市 30 日美術館の開催結果について、ご報告いたします。(議案書参照)

今回の藤沢市 30 日美術館は、藤沢で出土しました縄文・弥生土器 20 点と、地元湘南の若手作曲家によりますコラボレーションとなりました。会期は 2 月 8 日から 3 月 13 日までの 30 日間で、会場は市民ギャラリー常設展示室です。また、期間中関連事業として 3 月 5 日にワークショップを実施いたしました。「縄文をつくろう」ということで、粘土に縄文の紋様を再現し、それに素焼きを行い、つくられた方たちに渡しました。参加者人数は 26 名です。また、ワークショップが行われた 3 月 5 日午後には「ギャラリートーク」を実施いたしました。内容は、今回の作曲をお願いしました作曲家と 30 日美術館実行委員による掛け合いトークという形で行いました。64 名の方にお聞きいただきました。今回の土器の展示方法やそれをイメージして作曲した作品の苦労話、あるいはこの曲をつくられた作家の直感的な芸術的センスなど、普段ではなかなか聞けないようなお話をしていただきました。期間中の入場者は 2,899 人です。それからアンケートの集計結果ですが、今回は幅広い年齢層が来られ、30 日美術館をご覧になった回数では「時々見ている」、「毎年見ている方」を合わせると 42.5%となり、30 日美術館が市民の方たちに浸透してきているのではないかと感じております。また、今回、初めてという方が 49.6%と今までになく多く、これは音楽とのコラボレーションによるものではないかと考えております。これを機会に初めて来られた方々が継続して、今後も来ていただけることを期待したいと考えております。

いずれにしても、今回の「土器・音・空間 一時空を超えたコラボレーション」開催に当たりましては、教育委員の皆様にもお忙しい中を来ていただき、ありがとうございました。無事、終了したことをご報告し、説明にかえさせていただきます。

岩本委員長 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明に対してご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

赤見委員 24 ページの入場者状況表の下段右下「平均入場者数(日)」は 1 日 97 名だと思いが、「時間帯平均」の 10 時～11 時 65 名というのは、毎日ではなくて、1 週間に分けて 4 で割っているのだろうと思うけれども、そうなると、時間帯平均が 1 週間ごとの平均で、平均入場者の合計が 1 日ごとの平

均というのは違和感を覚えるので、時間帯の平均で1日出すのであれば、10時から11時は65ではなくて、11名となって、それを追っていくと合計97人になるとした方がいいのではないかと。

神尾生涯学習部参事 おっしゃるとおりですので、今後、注意して作成していきたいと思えます。

澁谷委員 今回は、藤沢市としては初めてのネーミングライツという企業のご協力をいただいていたのですが、その辺りの効果、影響を教えてください。また、会期中に地震がありました、作品に影響はありませんでしたか。

神尾生涯学習部参事 今回、初めてネーミングライツをいたしました。この部分は、市の支出を抑え、また企業に協力をいただき、企業から30日間開催しているという発信をしていただいたりということで、市が今まで実施していたPRにプラスして、企業にも協力していただけたというところで相乗効果があったものと考えております。

また、作品が1つ倒れてしまうようなことがあったのですが、大事に至らず、そのまま元に戻して作品を飾らせていただきました。作品の中に桂砂（細かい砂）の入った袋を中に詰めておまして、重心が下に行くような形の防護策を最初から行っておりましたので、倒れる数が少なかったと思えます。

岩本委員長 入場者数が2,899名、友禅の方は4,025名ですが、友禅の方に来られた方が30日美術館の方に来られなかったのか。最初私も友禅展に、より興味関心を持っていました。実際に美術館の土器・音・空間を見たらすばらしい企画で大変反省しました。この入場者数の差については、友禅を見てそのまま帰られてしまったのか、その辺りはいかがでしょうか。

神尾生涯学習部参事 30日間の表を見ていただくと、友禅展は2月15日から2月20日の間は人数的には増えております。極端に増えているかということ、そうではないのですが、そういう部分ではお互いに友禅を見た方にも来ていただけたと解釈しております。

岩本委員長 多分、市民ギャラリーに入ったときに、友禅を見て帰ってしまうという流れができやすかったのではないかと。こういった文化事業に関しては、皆さん遠慮深い方が多くて、お店のように呼び込みという感覚がなかなか出なかったりするのでは、こちらもすばらしい展示なので、ぜひ見てほしいと声をかけたり、導線を確認したりすれば30日美術館の入場者数も増えていたかも知れません。小さな工夫で変わることもあるのではないかと。来年もすばらしい企画を期待しておりますので、よろしくお願ひします。

他にありませんか。



ないようですので、30日美術館開催結果について、了承することといたします。

×××

岩本委員長 次に(4)「はやぶさ」帰還カプセル展示結果について、事務局の説明を求めます。

神尾生涯学習部参事 市制施行70周年記念事業「はやぶさ」帰還カプセル展示の開催結果について、ご報告いたします。(議案書参照)

今回の「はやぶさ」帰還カプセル展示につきましては、宇宙航空研究開発機構の協力のもと、小惑星「イトカワ」の表面のかけらを7年ぶりに地球に持ち帰った小惑星探査機の展示となっております。会期は3月24日から3月27日の4日間です。会場は湘南台文化センターこども館1階ワークショップ室にて行われました。また、期間中には関連事業として「はやぶさ」講演を3月26日に、NEC航空宇宙システムに勤務され、「はやぶさ」に深く関わってこられた職員の方から「はやぶさ」の作製秘話や技術者たちの苦労などを織り交ぜながら、また、今後の宇宙事業が私たちにもたらす可能性等のお話をいただきました。これには湘南台公民館体育館を使いまして、383名の子どもが熱心に聞き入っていたということがございます。そして、全天周映画「HAYABUSA - BACK TO THE EARTH」を3月19日から4月3日まで13日間、1日5回投影を実施し、5,013名にご覧いただきました。内容としては2003年5月に打ち上げられてから「イトカワ」へ向かい、その表面の岩石を採取し、地球に持ち帰るまでのリアルなCGとムードいっぱいの内容で、見る人に感動を与えるような内容の映画となっております。

最後に、地域の方々が関連グッズ等の販売を行い、収益を東日本大震災への義援金として、それぞれの受付等で義援金カンパを行いまして、市社協にお渡ししてきたという報告を受けております。金額は記載のとおりです。以上です。

岩本委員長 事務局の説明が終わりました。ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

赤見委員 27ページの義援金について、湘南台地域経営会議の金額が3つに分かれているのはどういう意味なのか。

神尾生涯学習部参事 上の2枠の数字をトータルした金額がグッズ販売金額になりますが、2つに分けたのは、実際に物販で売った金額が2段目で、一番上がグッズ販売のところで募金をした金額と理解しております。

岩本委員長 そうすると、その上の「はやぶさ展示」のお金どういう意味ですか。

神尾生涯学習部参事 こども館として別のところで募金活動をしていたということです。

岩本委員長 他にありませんか。  
ないようですので、了承することといたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岩本委員長 以上で、本日予定いたしました公開で審議する案件はすべて終了いたしました。

最後に、短く報告をさせていただきます。今週月曜日に小田原市において教育委員会連合会総会、神奈川県内 33 市町村の教育委員長が集まり、会議を行いました。その際に二宮町教育委員長から、ぜひ教育委員会連合会として被災地への支援を行いたい。しかも、息の長い教育に関する支援を行いたいと。具体的には学校の図書室への本の寄贈、ただし、こちらで勝手に決めて送ってしまうと、それが果たして役に立つかわからないと。教育委員の場合、事務局という強い味方がありますので、被災地の教育委員会事務局と連絡が取りやすいので、被災地の教育委員を通して、具体的にこんな本が欲しいという書名を書いてもらうような仕組みを、今検討中ですが、ホームページでは、向こうの先生方がほとんど見る事ができないだろうということで、往復はがきを使って 1 冊でも 2 冊でも要望のあった本を届ける。それを神奈川県教育委員会では何かできたらと、提案をしてみました。息の長い、また、どんなリクエストが来るかわかりませんし、なかなか集まらないかもしれませんが、とにかく手を挙げて、こんなことができますというようなことをやりたいですねということがありましたので、今後とも皆様のご協力をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、次回の会議の期日を決めたいと思います。5月17日(火)午後7時30分、傍聴者の定員は20名、場所は東館2階教育委員会会議室において開催ということでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

岩本委員長 それでは、次回は5月17日(火)午後7時30分から、場所は東館2階教育委員会会議室において開催いたします。

以上で、本日の公開による日程はすべて終了いたしました。

午後4時18分 休憩